

2025都立高校入試問題分析

市進学院

共通問題 国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 25点 大問4 30点 大問5 25点(記述 200字作文)

2025年度試験問題 受検者平均点 75.0点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
	(1) 飾る	A	2	大問1	内容把握	B	5
	(2) 跳躍	A	2	大問2	内容把握	B	5
	(3) 貢献	A	2	大問3	段落の役割	B	5
	(4) 混ぜて	A	2	大問4	内容把握	C	5
	(5) 喝采	A	2	大問5	200字作文	C	10
大問2	漢字の書き						
	(1) 霧にツツまれる	A	2				
	(2) 胸にこめて	A	2	大問5	現代融合文		
	(3) 母のキョウリ	B	2	大問1	文法(意味・用法)	A	5
	(4) 記録をチヂめる	A	2	大問2	発言の役割	B	5
	(5) リョウケンの発行	B	2	大問3	内容把握	B	5
大問3	小説文			大問4	現代語訳	B	5
大問1	表現方法	A	5	大問5	内容把握	C	5
大問2	心情把握	A	5				
大問3	心情把握	A	5				
大問4	理由の説明	A	5				
大問5	心情把握	A	5				
				※	は記述問題		

問題分析

1 漢字の読み 2 漢字の書き
3 小説文 4 論説文 5 現代融合文

講評

基本的な問題が多いので、取りこぼさないようにすることが大切。
消去法による選択肢の絞り込みも有効。200字作文以外は全て選択肢問題。

1 漢字の読み

中学生で学習する漢字の範囲から出題

2 漢字の書き

小学校で学習する漢字の範囲から出題

3 心情把握

登場人物の動作、会話から情報を得ることが重要。
この文章では、「ぼく」の心情変化を追っていくことが大切。

4 作文は条件を守り、丁寧な字で書くことが重要。

事前の練習が効果的。
完全な白紙状態は避ける。部分点をくれるので、それを取りに行く。
作文のテーマは「文化を受け継ぎ発展させること」。

5 古文を知らなくても現代語を読めば、内容を推測できることが多い。

意味が分からないときは、繰り返し読んでみる。
2つの文章があるときには、共通点や関連する事柄に注目して読むこと。

難易度の標記

A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準(落とせない) 目安→正答率70%~80%
C: やや難問(含否を分ける問題) 目安→正答率50%~70%
D: 難問(1問でも出来れば良い) 目安→正答率30%~50%
E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下

共通問題 数学

配点 大問1 46点 大問2 12点 大問3 15点 大問4 17点 大問5 10点(記述2題)

2025年度試験問題 受検者平均点 60.4点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	一次関数		
大問1	正負の数	A	5	大問1	座標を文字で置く	B	5
大問2	文字式	B	5	大問2	直線の式	B	5
大問3	平方根	A	5	大問3	座標を文字で置く	D	5
大問4	1次方程式	A	5				
大問5	連立方程式	A	5	大問4	平面図形(半円)		
大問6	2次方程式	A	5	大問1	角度	B	5
大問7	二次関数の変域	A	5	大問2(1)	合同の証明	C	7
大問8	確率	B	5	大問2(2)	面積比	E	5
大問9	作図(垂直二等分線)	B	6				
				大問5	空間図形(直方体)		
大問2	規則性・文字式			大問1	四角すいの体積	B	5
大問1	文字式の利用	B	5	大問2	直方体内の平面の面積	C	5
大問2	文字式による証明	C	7	※	は記述問題		

問題分析

1 小問集+作図 2 規則性・文字式 3 関数 一次関数
4 平面図形 5 空間図形(分数のマークシートの順番は要注意)

講評

例年難しい大問5の間2が易しかったので、平均点は昨年比+4.1点
昨年とはほぼ同じ形式。大問1は配点が高いので、要注意。落とせない。
大問2の間2、大問3の間3、大問4の間2(2)が難しい。難関高受験は要練習。
1 どれも基本的な問題。練習量を増やし、ミスを減らすこと。
間2はミスが多いパターン。分数交じりの式は何度も練習すること。
2 文字式を使った証明は「慣れること」が必要。過去問等を使って同じ形式の問題をどんどん実施して自信をつけよう。
3 関数は得点源。間1・間2は必ず得点したい。
間3は難問。自作作成校でも出題される「座標を文字で置く」パターン。
4 図形問題は数をこなすことが必要。自分の頭で考える習慣をつけよう。
また、疑問点はそのままにせず、先生へ質問すること。間2(2)は難問。
5 斜めになっている立体図形の求積は「どこ」を底面と高さにするかがポイント。
見方を変えると、わかりやすくなる人が多い。

共通問題 英語

配点 大問1 20点 大問2 24点 大問3 28点 大問4 28点(3文の英作文1題)

2025年度試験問題 受検者平均点 63.7点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	対話文読解		
大問1	対話文1 内容一致	A	4	大問1	内容一致	A	4
	対話文2 内容一致	A	4	大問2	内容一致	A	4
	対話文3 内容一致	B	4	大問3	内容一致	B	4
大問2	Q1 内容一致	A	4	大問4	内容一致	B	4
	Q2 内容一致記述	C	4	大問5	内容一致	B	4
				大問6	通語補充	B	4
大問2	対話文読解			大問7	通語補充	C	4
大問1	通語補充	B	4	大問4	長文読解		
大問2	通語補充	C	4	大問1	内容一致	B	4
大問3(1)	内容一致	B	4	大問2	文整序	C	4
大問3(2)	英作文(3文)	C	12	大問3(1)	内容一致	B	4
				大問3(2)	内容一致	B	4
				大問3(3)	内容一致	C	4
				大問4(1)	内容一致	B	4
※	は記述問題			大問4(2)	内容一致	B	4

問題分析

1 リスニング 2 対話文+英作文 記述は昨年と変わらず3文の英作文。
3 対話文 4 論説文

講評

総読数も増え、内容も昨年より、少し難しくなった。
細かい文法よりも、長文を丁寧に速く読む習慣を身に付ける必要がある。

1 リスニング 問題Aは易しい。問題Bが勝負、メモをしっかりとって聞こう。

2 資料を読み取りながら、対話文を読解していくスタイル。
英作文は難しい表現は使わずに、文法のミスをしたくないことが重要。
「時制・人称・単数か複数か」がチェックのポイント。
事前に自分の書きやすい文の形を身に付けておくと、安心できる。

3 通語補充 傍線部の前後にヒントや根拠があるので注意して読むこと。

4 内容はそれほど難しくはないが、文章量が多い。過去問等を使い長文問題に慣れておく必要がある。英語読解の力は必要。

共通問題 社会

配点 大問1 15点 大問2 15点 大問3 15点 大問4 20点 大問5 20点 大問6 15点(5点×20問)(記述3題)

2025年度試験問題 受検者平均点 59.9点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	(3分野総合)			大問4	(歴史)		
大問1	地形図の読み取り	A	5	大問1	時代の古い順に並べる	B	5
大問2	天象の特定	B	5	大問2	後編を時代の古い順に並べる	B	5
大問3	地方公共団体の財源	B	5	大問3	江戸時代の経済の発展と変化	C	5
				大問4	昭和～平成の出来事	C	5
大問2	(世界地理)						
大問1	南進図	B	5	大問5	(公民)		
大問2	自動車工業	B	5	大問1	社会権	B	5
大問3	ヨーロッパ	B	5	大問2	労働基本法	A	5
				大問3	景気対策	B	5
				大問4	労働力の変化とICT	C	5
大問3	(日本地理)						
大問1	国立公園の景観	B	5	大問6	(地理・歴史)		
大問2	観光農園	C	5	大問1	農作物	B	5
大問3	交通の利便性の変化	C	5	大問2	資料の読み取り	C	5
				大問3	人口と日本の輸出額	B	5
※	は記述問題						

問題分析

大問1 3分野より各1問。大問2・3地理 大問4 歴史 大問5 公民 大問6 地理・歴史
地理分野の出題がやや多い。完答問題が多いので注意。
歴史古い順の並べ替えて差がつく。大きな時代の流れ等は覚えておく必要あり。

講評 記述は昨年と同じ3題。標準的な問題が多く、平均点は昨年より、4.4点上昇した。
昨年よりも、点差が開いた様子。

1 地形図と写真の問題は例年通り。過去問等を利用して、慣れておく必要あり。
間3は地方公共団体の財源、細かい知識も必要。
2 間1・間2文中のキーワードに注目して、統べていく。
間3は問題文と資料より、選択肢を絞れるかがポイント。
3 文中のキーワードに気付けるか?各卓の特長を頭に入れて置くことが重要。
記述 自分なりに目的意識をもって考える習慣をつけることが大切。
4 資料を見て、自分の頭で考える習慣をつけることが重要。
社会は暗記だけではないので、注意すること。
5 日本国憲法の条文は頻出。間3の財政政策・金融政策の問題は難問。
きちんと理解していないと正解できない。
6 間1 表から必要な情報を抜き出す。間2 1922年にイギリスより独立した国は?
間3 アフリカ州の特徴を覚えていたか? 知識も大切。

共通問題 理科

配点 大問1 24点 大問2 16点 大問3 16点 大問4 12点 大問5 16点 大問6 16点(4点×25問)(記述2題)

2025年度試験問題 受検者平均点 59.2点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問4(生物)	細胞分裂		
大問1	反応の経路	A	4	大問1	観察方法	A	4
大問2	物質の分類	B	4	大問2	染色体	A	4
大問3	入射角と屈折の方向	B	4	大問3	細胞分裂と成長	A	4
大問4	密度と鉄の性質	B	4				
大問5	圧力	A	4				
大問6	遺伝	A	4	大問5(化学)	分解		
				大問1	気体の集め方	A	4
大問2	レポートを読んで			大問2	溶媒・溶質の性質	B	4
大問1	植物の分類	A	4	大問3	溶解度	C	4
大問2	中和とイオン	B	4	大問4	化学反応式	C	4
大問3	飽和水蒸気量	B	4				
大問4	分力	C	4				
大問3(物理)	地層と岩石			大問6(物理)	電流と磁界		
大問1	堆積岩	B	4	大問1	電力量	B	4
大問2	火成岩のつくり	B	4	大問2	電流と磁界の変化	A	4
大問3	地層のつながり	C	4	大問3	モーター	B	4
大問4	堆積環境の変化	B	4	大問4	並列回路	B	4
				※	は記述問題		

問題分析

1 各分野の小問集 2 実験レポートを読んで出題される各分野の問題
3 地学(地層と岩石) 4 生物(細胞分裂) 5 化学(分解) 6 物理(電流)
※4分野からまんべんなく出題されている。苦手分野を作らないことが大切。

講評 細かい知識も必要で、時間をかけて勉強する必要がある。記述は2題。
努力した生徒とそうでない生徒の得点差が開いた科目

1 各分野の基本的な問題。
教科書の知識を確認しておくこと

2 レポートを読んで答える問題。レポートから発展させる問題もある。
内容はそれほど難しくはない。間4分力はやや難。

3 地層と岩石に関する問題。地層系は暗記が中心だが、柱状図など原理原則をしっかり理解することが必要。過去問を使って学習すること。

4 細胞分裂の問題。問題文は長い、基本的な内容。全問正解したい。

5 加熱分解の問題 計算が入ってくると急に正答率が下がってしまう。
難関校受験者は間3間4で正解する力をつける必要あり。

6 電流と磁界の問題。モーターの仕組みはしっかり理解しておくことが必要。
電流分野も原理原則の理解が重要。疑問点は質問することが大切。